

# 『苦情はいつも聽かれない』 読書会 (全5回)

理不尽に対して声を上げたいと思ったことはありませんか



## 『苦情はいつも聽かれない』 (筑摩書房)

サラ・アーメッド 著 竹内要江・飯田麻結 訳

### 本書について

ハラスメントの被害を経験した学生や研究者から聴き取った膨大な証言をもとに、大学組織が「多様性」を掲げながら被害の訴えを封殺していく様子を描き出す。被害証言だけでなく、組織に変革を迫る学生や教職員の連帶行動も描かれている。

周囲の人や自分自身のハラスメント（を生み出す価値観）に気づく視点を養い、被害者に寄り添うアクティブ・バイスタンダーのネットワークを学内に築くことを目的とした読書会です。

### ※アクティブ・バイスタンダー（行動する第三者）とは？

ハラスメントや性暴力を見過ごさず、被害者の味方になって行動する人々のことを指します。

## 第1回 ガイダンス：2025年12月22日（月） 15:10-16:40

第2回 2026年1月19日（月） 15:10-16:40 第3回 2026年2月2日（月） 15:10-16:40

第4回 2026年2月16日（月） 15:10-16:40 第5回 2026年3月2日（月） 15:10-16:40

1回当たり90分 全5回、第2回以降はオンライン参加も可能です。

人科の学部生・院生・研究生ならどなたでもご参加いただけます！

※第1回のガイダンスは対面で実施いたします。必ずご参加ください。

※ガイダンスまでに本を読んでおく必要はありません。



人と組織のレジリエンス・サポートルーム

吹田キャンパス 人科棟 本館2F 東ウィング M226



近藤凜太朗（レジサポ・特任助教）

rintarokondo.hus@osaka-u.ac.jp



今期の募集は  
締め切りました

申込方法：QRコードから参加申請フォームにご記入ください。

定員（10名）になりましたら申込を締め切らせていただきます。



人と組織のレジリエンス・サポートルーム

人と組織のレジリエンス・サポートルーム  
<https://www.hus.osaka-u.ac.jp/ja/resilience/>

